

事業番号	09 03 01	事業改善シート (29年度実施事業分)	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業	部局	農政部		課・室	農業技術課
		実施期間	S53 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp	
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)						
プロジェクト	2 農山村産業クラスター形成プロジェクト					
施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○水稲、麦類、大豆及びそばによる水田農業経営の持続的な発展のためには、食味・品質に優れ、需要に見合った生産や、再生産可能な所得の確保・向上が求められている。 ○米については、農産物検査法に基づく1等比率が、全国トップクラスを維持しているが、麦・大豆・そばについては、近年の天候不順により、品質低下や不安定な作柄が課題となっている。	29年度決算額	919,257 千円
		職員数	7.00 人
目指す姿	○実需者ニーズや需要を踏まえ、地域の特色ある産地づくりを進めるため「水田フル活用ビジョン」を県下全域で策定し、関係機関・団体と連携を図り、ビジョンに沿った作付け誘導が図られている。 ○県オリジナル品種(米(風さやか)、麦(ホワイトファイバー)、大豆(すずほまれ)、そば(信州ひすいそば)等)の作付拡大や品質向上を図り、ブランド化による優位販売が行われている。 ○主食用米のみに依存しない持続性の高い水田農業経営体の育成に向け、水田経営の複合化や生産コストの削減を進めるとともに、経営所得安定対策等の国の支援措置を活用し、経営の安定化が図られている。 (主な実施内容:研修会の開催、実証モデルほ場設置、高性能機械導入・施設整備支援、経営支援制度の推進、米の需給調整の推進など)		

事業	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	指標及びその達成状況							
		前年度繰越	133,775		41,284	153,020	No	成果指標	27年度末	28年度末	29年度		
		当初予算	925,417	1,285,889	1,107,787	711,112					目標値	成果	達成状況
コスト	予算額	補正予算	-593,146	636,507	69,195								
		合計(A)	466,046	1,922,396	1,218,266	864,132	①	実需者ニーズの高い県オリジナル品種の作付面積	1,790ha	1,998ha	2,260ha	2,001ha	未達成
	Aの財源	一般財源	36,359	55,208	54,710	39,466	②	米の1等比率の全国順位	2位	2位	1位	1位	達成
		県債					③	水田活用の直接支払交付金加入面積	10,172ha	10,424ha	11,200ha	10,421ha	未達成
		国庫支出金	429,678	1,229,801	271,007	250,766	④	5ha以上の効率的な水田農業経営体数	594経営体	615経営体	625経営体	652経営体	達成
		その他	9	637,387	892,549	573,900							
	決算額(B)	390,974	948,135	919,257									
	概算人員費	職員数(人)	6.00	6.00	7.00	7.00							
		概算人員費(C)	49,656	47,484	56,714	56,714							
		概算事業費(B(A)+C)	440,630	1,969,880	975,971	920,846							

成果指標設定理由	①「第2期県食と農業農村振興計画」に掲げる達成指標であり、県オリジナル品種(米・麦・大豆・そば)の普及・拡大状況を評価できるため。 ②本県において、品質の高い米生産が行われていることを評価できるため。 ③主食用米の計画生産と、需要を踏まえた水田への農作物の作付け誘導により、水田の利活用状況について評価できるため。 ④本県の水田農業を担う持続性の高い水田農業経営体の育成状況について評価できるため。
----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

目標に対する成果の状況	①水稲「風さやか」及び「信州ひすいそば」は、協議会体制により関係者が一丸となったPR対策等の実施、麦(ゆめかおり、ハナマンテン)及び大豆(すずほまれ、すずろまん)は、生産振興研修会の開催等により、目標の2,260haに対して89%の2,001haとなった。 ②現地検討会の開催等による適正施肥の励行、胴割米・斑点米等の発生防止対策の徹底等により、米の品質ランクである1等米の比率が全国1位となった。 ③国の制度変更で交付対象項目が削減されたことなどにより、目標の93%となったものの、制度説明会の開催等による活用推進により交付面積は前年度並みを確保することができた。また、水田活用が大規模経営体へ集積され、農業法人の活用件数が増加している。 ④補助事業の活用や、市町村・JAなど関係機関・団体と連携した技術支援等により、着実に効率的な水田農業経営体の育成が図られた。
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ・全国よりも10a当たりの米の生産費が高く、価格競争力が弱いことから、水田農業の体質強化が必要 ・消費者や実需者のニーズに対応した品種誘導と、適地適作による県オリジナル品種「風さやか」等の作付拡大 </td> <td> ・2018年度からの5か年計画である第3期長野県食と農業農村振興計画の成果目標の達成に向けて、補助事業の活用による支援や栽培技術の徹底、PR対策等により生産振興を図る。 </td> </tr> </tbody> </table>	課題	今後の方向性	・全国よりも10a当たりの米の生産費が高く、価格競争力が弱いことから、水田農業の体質強化が必要 ・消費者や実需者のニーズに対応した品種誘導と、適地適作による県オリジナル品種「風さやか」等の作付拡大	・2018年度からの5か年計画である第3期長野県食と農業農村振興計画の成果目標の達成に向けて、補助事業の活用による支援や栽培技術の徹底、PR対策等により生産振興を図る。
課題	今後の方向性				
・全国よりも10a当たりの米の生産費が高く、価格競争力が弱いことから、水田農業の体質強化が必要 ・消費者や実需者のニーズに対応した品種誘導と、適地適作による県オリジナル品種「風さやか」等の作付拡大	・2018年度からの5か年計画である第3期長野県食と農業農村振興計画の成果目標の達成に向けて、補助事業の活用による支援や栽培技術の徹底、PR対策等により生産振興を図る。				

3 事業を構成する細事業の内容

No	プロジェクトNo	細事業名	29年度 実施内容(実績)	職員数(人)	29年度		30年度
					(当初)	(決算)	(当初)
1		多様なニーズに対応する穀物生産振興事業	実需者ニーズに対応した米・麦・大豆・そばの生産体制の強化に向けた、品質向上研修会の開催や現地実証ほ場の設置等	1.50	9,577	7,496	10,520
2		種子対策事業	主要農作物(米、麦、大豆、そば)の種子を安定的に生産・供給するための、原種ほ場の設置や奨励品種決定調査の実施等	0.50	13,419	12,536	13,553
3		経営所得安定対策推進事業	水田農業の経営安定を図るため、経営所得安定対策への加入促進や事業推進に対する支援	0.30	250,000	227,700	249,500
4	2-3-1	水田農業所得向上緊急支援事業	持続性の高い水田農業経営体を育成するため、経営の複合化に対する支援や生産コストの削減等を推進	1.50	9,643	8,970	-
5	2-3-1	主要穀類オリジナル品種戦略的拡大支援事業	水田経営体の収益力を高めるため、県オリジナル品種の戦略的な生産拡大を推進	1.00	5,184	4,587	4,392
6		産地パワーアップ事業	産地強化を図るため、高性能農業機械の導入や施設の近代化を支援	0.60	800,000	641,127	420,000
7	2-3-1	農業経営カイゼン実践普及事業	新たな手法により農家の経営改善を指導するため、民間が行う改善手法の習得、モデル経営体への経営改善指導の実施	1.00	5,787	4,938	3,480
8		水田農業経営確立推進指導事業	主食用米の需給調整を図るため、水田フル活用ビジョンに基づく主食用米に代わる作物の導入・定着を推進	0.60	14,177	11,903	9,667
合計				7.00	1,107,787	919,257	711,112

事業改善シート附表

事業番号 09 03 01	事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業			部局	農政部		課・室	農業技術課			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検						
						27年度	28年度		29年度			総合5か年計画プロジェクト		県民協働事業改善		備考 (H28事業番号)		
細事業No	細事業名	項目	実施方法	29年度 実施内容（予定）	29年度 実施内容（実績）	29年度 実施状況	当初 (千円)	当初 (千円)	要求 (千円)	当初 (千円)	補正 (千円)	決算 (千円)	番号	施策の 総合的 展開	予算 (千円)		実施 年度	主な点検 区分結果
1	多様なニーズに対応する穀物生産振興事業	共同利用施設等の整備に対する支援	交付金	—	—		617,293	977,425	—	—	—	—						090301
1	多様なニーズに対応する穀物生産振興事業	水稲及び水田作麦・大豆・そばの生産振興	直接	・需要に的確に対応した米、水田作麦・大豆・そばの生産振興方針の策定 ・生産体制を強化するための技術研修会等の開催 ・難防除雑草に係わる現地実証ほの設置 等	・需要に的確に対応した米、水田作麦・大豆・そばの生産振興方針の策定 ・生産体制を強化するための技術研修会等の開催(2回) ・難防除雑草に係わる現地実証ほの設置(4箇所) 等	計画通り ○	2,977	2,948	3,026	3,026	—	2,226						090301
1	多様なニーズに対応する穀物生産振興事業	畑作戦略作物(麦・大豆・そば)の生産振興	直接	・作付推進・品質向上研修会の開催	・作付推進・品質向上研修会の開催(1回)	計画通り ○	5,534	188	188	188	—	188						090301
1	多様なニーズに対応する穀物生産振興事業	土壌有害物質のリスク管理	直接	・カドミウム低吸収性イネの現地対応性の検討 ・水管理による吸収抑制技術やリスク管理に係わる検討会の開催	・カドミウム低吸収性イネの現地対応性の検討 ・水管理による吸収抑制技術やリスク管理に係わる検討会の開催(3回)	計画通り ○	—	668	786	786	—	646						090301
1	多様なニーズに対応する穀物生産振興事業	農産物の検査業務	直接	・農産物検査制度に基づく、検査機関の登録審査及び立入検査の実施	・農産物検査制度に基づく、検査機関の登録審査及び立入検査の実施	計画通り ○	—	880	890	890	—	749						090301
1	多様なニーズに対応する穀物生産振興事業	地域食料自給圏の実証実験	直接	・地消地産を一層推進するため、生産から販売までの地域内循環システムに係わる実証ほ場の設置と検証	・地消地産を一層推進するため、生産から販売までの地域内循環システムに係わる実証ほ場の設置と検証	計画通り ○	—	—	15,811	4,687	—	3,687						
2	種子対策事業	奨励品種決定調査	委託	・奨励品種決定調査ほ場の設置(農家委託)	・奨励品種決定調査ほ場の設置(22箇所)	計画通り ○	629	660	658	658	—	658						090302
2	種子対策事業	奨励品種決定調査	直接	・原原種及び原種の採種ほ場の設置 ・奨励品種決定調査の実施	・原原種及び原種の採種ほ場の設置 ・奨励品種決定調査の実施	計画通り ○	2,465	1,615	1,551	1,551	—	668						090302
2	種子対策事業	原種センターへの支援	補助金	・主要農作物種子(米、麦、大豆、そば)の安定生産・供給及び災害に備えた種子備蓄に係わる原種センターへの支援	・主要農作物種子(米、麦、大豆、そば)の安定生産・供給及び災害に備えた種子備蓄に係わる原種センターへの支援	計画通り ○	11,163	11,175	10,874	11,210	—	11,210						090302
	(米粉普及推進事業)	米粉の利用促進	直接	—	—		327	307	—	—	—	—						090303
3	経営所得安定対策推進事業	制度への加入促進及び事業推進	負担金	・経営所得安定対策の説明会開催 ・農業者別生産数量目標に関する申請書配布、回収 ・実績確認等	・経営所得安定対策の説明会開催 ・農業者別生産数量目標に関する申請書配布、回収 ・実績確認等	計画通り ○	260,000	251,520	250,000	250,000	-21,250	227,700						090304
4	水田農業所得向上緊急支援事業	水田農業複合経営モデルの提示と推進	直接	・シミュレーションソフト(AGRIX NAGANO)を活用した複合経営のモデル経営体の育成・支援	・シミュレーションソフト(AGRIX NAGANO)を活用した複合経営のモデル経営体の育成・支援(101経営体)	計画通り ○	—	700	700	700	—	697	2-3-1	1-3.2	700			090305
4	水田農業所得向上緊急支援事業	経営規模拡大に対する支援	補助金	—	—		—	9,000	—	—	—	—						090305
4	水田農業所得向上緊急支援事業	戦略作物の収益向上対策	補助金	—	—		—	—	2,000	0	—	—	2-3-1	1-3.2	0			
4	水田農業所得向上緊急支援事業	収益性の向上(経営の複合化への支援)	補助金	・加工・業務用野菜等の導入による稲作経営の複合化に係わる農業機械導入や実証支援	・加工・業務用野菜等の導入による稲作経営の複合化に係わる農業機械導入支援(3箇所)	計画通り ○	6,231	2,720	2,720	2,720	—	2,057	2-3-1	1-3.2	2,720			090305
4	水田農業所得向上緊急支援事業	コスト低減の推進	委託	・富士通(株)が開発したICTシステムを大規模モデル経営体へ導入し、生産コストや労務等の分析を実施	・富士通(株)が開発したICTシステムを大規模モデル経営体へ導入し、生産コストや労務等の分析を実施(8法人)	計画通り ○	—	5,992	5,992	5,992	—	5,986	2-3-1	1-3.2	5,992			090305
4	水田農業所得向上緊急支援事業	飼料用米の推進	直接	・多収品種(ふくおこし)の超低コスト栽培に係わる実証ほ場の設置	・多収品種(ふくおこし)の超低コスト栽培に係わる実証ほ場の設置(3箇所)	計画通り ○	—	231	231	231	—	230	2-3-1	1-3.2	231			090305
5	主要穀類オリジナル品種戦略的拡大支援事業	「風さやか」のブランド確立推進	補助金	・「風さやか」のブランド化に向けて、メディア、銀座NAGANO等でのPR活動を支援	・「風さやか」のブランド化に向けて、メディア、銀座NAGANO等でのPR活動を支援(PRイベント13回、TV放映10回等)	計画通り ○	—	3,510	3,510	3,510	—	3,510	2-3-1	1-3.2	3,510			090306
5	主要穀類オリジナル品種戦略的拡大支援事業	「信州ひすいそば」のブランド確立推進	補助金	・「信州ひすいそば」のブランド化や生産拡大に向けた研修会の開催やPR活動の実施	・「信州ひすいそば」のブランド化に向けたPR活動の実施(PRイベント1回)	計画通り ○	—	1,674	1,674	1,674	—	1,077	2-3-1	1-3.2	1,674			090306

事業番号	事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業				部局	農政部		課・室	農業技術課		<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検						
細事業No	細事業名	項目	実施方法	29年度 実施内容（予定）	29年度 実施内容（実績）	29年度 実施状況	27年度	28年度	29年度				総合5か年計画 プロジェクト		県民協働事業改善		備考 (H28事業番号)	
							当初(千円)	当初(千円)	要求(千円)	当初(千円)	補正(千円)	決算(千円)	番号	施策の総合的展開	予算(千円)	実施年度		主な点検区分結果
6	産地パワーアップ事業	産地強化に対する支援	補助金	・次世代を担う農業者等が実施する施設整備や高収益作物・栽培体系への転換を総合的に支援	・大豆集出荷施設や花きハウス等の整備(11箇所) ・ぶどう冷蔵庫のリース導入等(118箇所)	計画通り ○	—	—	800,000	800,000	91,658	641,127						
7	農業経営カイゼン実践普及事業	新たな経営改善手法の習得と実践	委託	・大規模法人におけるカイゼン手法を活用した実践活動の支援 ・普及指導員のカイゼン手法の習得研修	・大規模法人におけるカイゼン手法を活用した実践活動の支援(水稲モデル2法人) ・普及指導員のカイゼン手法の習得研修(6回)	計画通り ○	—	—	7,000	5,787	—	4,938	2-3-1	1-3,2	5,787			
8	水田農業経営確立推進指導事業	主食用米の需給調整の推進	補助金	・主食用米の需給調整のために市町村が行う、県オリジナル品種等の試作・導入や、地域の戦略作物の生産拡大を支援	・主食用米の需給調整のために市町村が行う、県オリジナル品種等の試作・導入や、地域の戦略作物の生産拡大を支援(24市町村)	計画通り ○	18,798	14,676	14,177	14,177	-1,213	11,903						090307
合 計							925,417	1,285,889	1,121,788	1,107,787	69,195	919,257			20,614			